

宮崎大学発 都農町かわら版

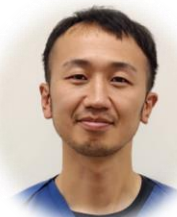
令和6年3月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。



4年間、お世話になりました！

梶田 一旭（のきた いっき）先生

医学部地域包括ケア・総合診療医学講座 特別助教
2020年4月～町立病院にて総合診療医として勤務

のきた先生は、町立病院内での診療や在宅医療のほか、医学生や若手医師
の教育活動に尽力してきました。

この3月末で都農町寄附講座を離れることとなり、都農町での4年間を振り
返ってもらいました。

【4年間を振り返っての感想】

これまで、町立病院が担ってきた地域医療の体制の中に、総合診療科という新
しい組織をどのように創っていくか、考え、悩み、走り続けた4年間だったと思
います。院内のスタッフと協力してコロナ禍という危機的な状況を乗り切れたこ
と、町民の皆さんの声や医療のニーズを分析し、都農町の在宅医療を展開するこ
とに注力した、やりがいのある4年間でした。

【都農町で印象にのこった出来事】

都農の夏祭りです。『都農町に来たからには、ぜひ夏祭りを見てほしい』とい
う声をよく耳にしていました。コロナ禍では、開催が叶わず、町民の方々が残念
にされる姿を見ることも多かったのですが、4年ぶりに通常開催された夏祭りは、
熱く、活気に満ちた時間でした！

けんこう日記について (3/1抜粋) by 桐ヶ谷先生

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言いますが、
あっという間に3月になったな—と思う方々も多いのでは。

2021年4月から始まったローカルけんこうメディア「つのまる」
ほぼ毎日の「けんこう日記」と月1回程度の「とりくみ」で健康づ
くりや病気のこと、悩みに役立つ情報をお届けしてきました。

3月末で現状の方法はいったん終了し、新しい情報の
届け方を考えていきます。

〇〇さんが猫を飼い始めた、メンタルヘルス、内臓
脂肪減少薬アライ、春バテなど3月の日記はこちら⇒



けんこう日記

桜満開 ☆ 医学生、卒業・旅立ちの季節

医学科6年生も2月の医師国家試験を終え、3月15日、合格発表の
日を迎えました。机にかじりついて猛勉強した知識や、緊張しな
がら患者さんと対面した臨床実習経験など、きっと試験でも実力
を発揮できたはず！

合格した学生は4月から研修先となる病院や診療所などで、更な
る研鑽を積むことになります。いつか立派な医師として都農町に
も戻ってきてくれることを願っています。

【町立病院勤務の中での新たな気づき】

多職種連携の重要性です。患者さんから届く声の中には、病気
に関する相談事だけでなく、生活や介護等の問題が絡んだ困りご
とも多くありました。複数の問題を抱えた複雑な困りごとに対し
て、医療・病院での対応だけでは限界があるので、院外の施設と
コミュニティを構築し、多職種と協力できる関係性を築いておく
ことが重要であると認識する機会が多かったです。

【町の方へのメッセージ】

寄附講座や総合診療科がもっと身近な存在に！コロナ禍で町
民の皆さんと接する機会が想定より少なかったのが残念でした。
町民の方々とこれまで以上に接点を持ち、身近な存在になっ
ていくことを願っています！

【今後の抱負】

都農町で得た貴重な経験と学びを、次の環境に活かすべ
く邁進していきます！宮崎県の医療がもっと良くなるよう
に頑張ります！これからもご支援よろしくお願ひします！



3/13町議会全員協議会で活動報告しました。

議会後の全員協議会の場で議員の方々向けに、2月15日の卒論交流発表会のポスター集、かわら版一式、事後アンケート内容をお届けし、出口教授よりこれまでの講座活動について説明報告しました。今後、地元の課題を良く知る議員の皆様と意見交換しながら活動を深めたいと出口教授。議長からは、**議会に若い学生の視点も取り入れ、大学と共に学び、都農を良くしていけるように**今後はより多くの接点を持ちたいとお言葉を頂きました。



成果ポスター集

3/14文科省大学視察で学生が都農町でのPBL I 活動成果を説明

地域学部創設に関わった文科省職員の方と地域学部学生との意見交換会があり学部代表の12名の内1年生4名が寄附講座のPBL I での実践活動について発表しました。授業で作成したポスターを前に、**授業でどのように学んだか、都農町での活動で得られた経験などを堂々と説明**していました。1年生、緊張はあったものの成長した立派な姿を見せてくれました。



瀬川先生が宮崎大学教員教育活動で学長表彰されました

授業において、**卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践した教員、そして教育方法の工夫又は改善に組み、顕著な教育成果をあげた教員を表彰**する全学表彰制度で、受彰は大変名誉なことです。

都農町をフィールドにした地域資源マップ作成を取り入れた地域学基礎の授業構成や地域実践活動教育が評価されました。おめでとうございます！



3/17 イノベーション教育学会で都農寄附講座活動をフース紹介

宮崎大学で開催されたこの学会大会では、全国から約100名が集まり、先進的な教育活動の取組事例紹介や研究分野ごとにイノベーション教育について議論しました。

ポスターセッションでは都農町コーナーを設け、寄附講座の取組紹介のポスター展示をしました。講座ポスターのほか、町の紹介パンフレットを置き全国の学会関係者に都農町での活動を紹介しました。



自主ゼミとして都農で活動した学生たちが卒業 ☆彡

ツノタイムズ(農学研究科修士2年内山智浩さん,外山大夢さん)

R3年度に都農町の魅力発信動画づくりからスタートしたツノタイムズのR4,5年度の活動は、ツノスポーツアカデミーの中高生を対象にした自己分析を通じた自己理解、将来像を描く教育ワークショップの企画運営でした。年に5~6回開催し1/24を最終回に活動を終えました。

学業を終えた修士2年生の二人に、これまでの都農での活動を振り返ってもらいました。

ツノタイムズについてはR4.10月号かわら版、QRコードへ→



以下 ①感想 ②町の皆様へのメッセージ



内山さん

外山さん

①悔いなくやり切ることができました。町に行くたびに街の魅力を感じられました。

②活動の場を与えて頂いた全ての方に感謝します。色々な方と交流することで都農の人文資源や地域資源を感じられました。**地域創生に関してより力を蓄えた上で宮崎に帰ってきます！**

- ①自発的に学びながら、実践できる場で、都農町での活動は大きな自己成長につながりました。**大学、大学院生活の中で、最も充実した課外活動でした！**
- ②私の第二の故郷として、今後も地域の方と交流していきたいです。地元宮崎で就職のため、これからからは社会人として皆さんと共に宮崎を盛り上げていきたいです。お世話になり深く感謝いたします

3/22地域学部寄附講座ゼミ4年生6名が卒業

町役場で卒論発表をした4年生が、晴れて卒業しました。4年間の学生生活を終えて4月からの新生活へ巣立ちます。都農町での4年間の学びを活かして県内外で活躍してくれることを期待します。そして都農町での学びや経験が役に立ち、また都農町を思い出し、仕事や余暇で都農を訪れるなど今後も関わる機会がありますように。卒業おめでとうございます！



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2024年3月22日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）